

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	歯科医療の展開に向けた協議・検証事業			担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	歯科保健課		課長：田口 円裕		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	日本歯科医師会等の職能団体や、歯科大学等の教育機関の間で、歯科医師の資質向上を前提とした具体的な歯科医療の展開方策を検討する。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	歯科医師の資質向上を前提とした具体的な歯科医療の展開方策を検討するために、関係者主体で以下のような事項について協議・検証を行う。 ①歯科医療の専門医に関する制度設計と展開方策 ②女性歯科医師の活躍に関する展開方策 ③歯科医療の国際展開 ④その他歯科業界の活性化に関する展開方策								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	5		
	執行額	-	-	-	-	-			
	執行率 (%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 29年度	目標最終年度 30年度	
	協議項目について、施策に つながるように報告書を取り まとめる。	協議項目に係る報告書(年 間又は最終)の数	成果実績	冊	-	-	-	-	-
			目標値	冊	-	-	-	精査中	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	協議会開催回数	活動実績	回	-	-	-	-		
		当初見込み	回	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	単位当たりコスト = X / Y X:「執行額」 Y:「協議会開催回数」	単位当たり コスト	百万円	-	-	-	-		
		計算式	X/Y	-	-	-	-		
平成 28・29 年度 予算 内 (単位: 百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	保健福祉調査委託費	0	5						
	計	0	5						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標2 必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること									
	施策	医療従事者の資質の向上を図ること(施策目標I-2-2)									
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度		
			実績値	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	協議項目に係る報告書がとりまとめられることで、新たな課題や施策の方向性が定まり、歯科医師を初めとした医療従事者の資質向上等をより一層促進できる。										
	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	歯科医師の資質向上を前提とした歯科医療の展開方策の検討は、歯科医療の発展という社会ニーズに沿うものである。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国の施策につなげるために、国が課題を定めて実施すべき事業である。						
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	歯科医療の実情に応じた優先度の高い協議を展開できるようになっている。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-							
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-							
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-							
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-							
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-							
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-							
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-							
点検・改善結果	所管府省・部局名	事業番号	事業名								
	-	-	-								
点検・改善結果	点検結果	-									
	改善の方向性	-									

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。

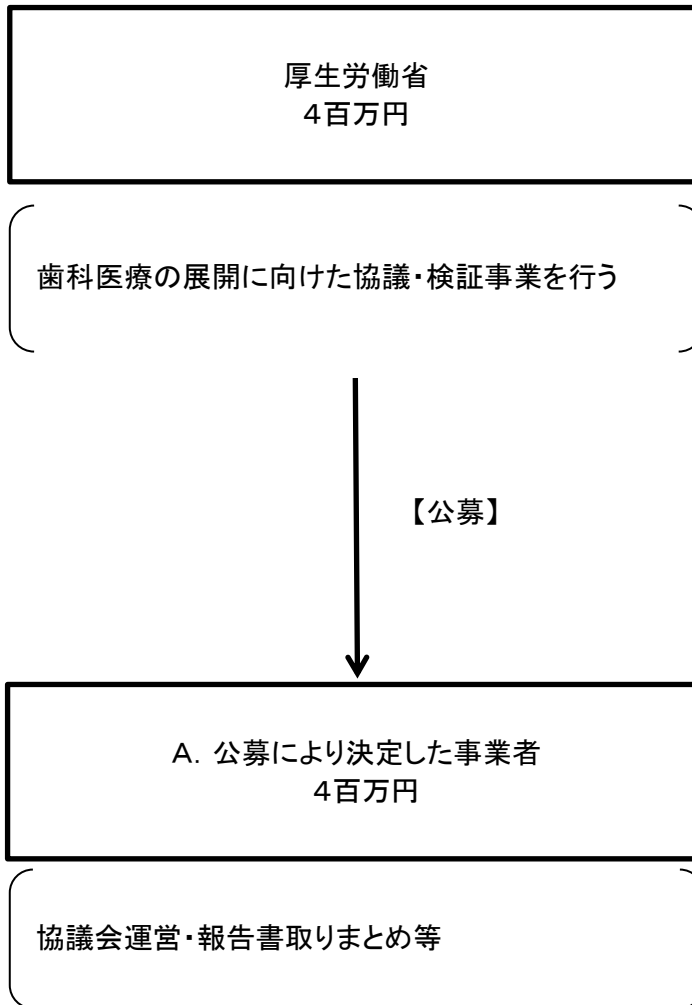
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

